

大永製作所は不当解雇を撤回せよ！ 組合つぶしをやめろ！

GSユアサの西工場内で、電源システムを請負製作している大永製作所で働いていた塩満さんが、10月26日に解雇されました。

塩満さんは、この7月に仲間といっしょに労働組合（ジーエス・ユアサ関連合同労組・大永製作所支部）を結成したばかりでした。

「就業規則を誰でも見られるように」「有給休暇を取りやすく」「住民税の給与天引き」など、あたりまえのことを要求し、職場を良くしようとがんばっていた矢先でした。

9月12日、突然会社が塩満さんに「酒臭い」と言いがかりをつけ、厚生労働省の指針で禁止されているアルコール・チェックを強要しました。

そして、12号棟の建物から外に出ることを禁止するなど人権侵害を続けました。

私たちジーエス・ユアサ合同労組は団体交渉を求め、誠実な話し合いで解決しようと努力していましたが、

会社は一方向的に解雇に及びました。

私たちジーエス・ユアサ合同労組は、働く仲間の権利を守り、不当な扱いに泣き寝入りせず、毅然と立ち向かってきました。

今回の問題は塩満さんだけの問題ではなく、派遣や請負など立場の弱い労働者全体の問題、使い捨て労働を許さない問題と考えています。

勝つまで闘いますので、ご支援をお願いします。

労働者の個人情報の保護に関する行動指針について (解説・抜粋／厚生労働省)

「使用者は、労働者に対するアルコール検査および薬物検査については、原則として、特殊な職業上の必要性があって、本人の明確な同意を得て行う場合を除き、行ってはならない。」

私に対する大永製作所の人権侵害行為について

(以下は、塩満さんが解雇される前に、書いたものです。)

私は現在、就労時間中は12号棟から出ることを禁止されています。・・・なんでこんなことになってしまったのか。

ある日突然、工場長に「ちょっと酒臭いですね」と言われ、その30分後くらいに、5～6人の人たちが私を取り囲み、「アルコール・チェックを受けてほしい」と検出器を私に突きつけました。・・・「それは違法ですよ」と何度も何度も断る私に、つめよりました。

今まで3年半も何も言ってこなかったのに。・・・

酒臭い＝酒気帯びとはなりません。医師もそれは違うとおっしゃってました。・・・(私は決して朝酒を飲んでいません。仕事に支障をきたしたことはありません。)

私だけアルコール・チェックを毎朝強要され、一日中12号棟から一歩も出ることを禁止されています。私だけそのような扱いを受けていることで、私は精神的にとっても疲れ、時折「もう誰か殺してくれ」と思うときもあります。



↑
11月6日に開催された「関西団結まつり」に参加し、不当解雇の撤回を訴えました。

パナソニックやヤンマーの非正規解雇と闘う仲間や、整理解雇撤回闘争に勝利和解した韓国の韓進重工業争議の仲間と交流を深めました。

勝つまで闘う決意が高まりました。

ジーエス・ユアサ関連合同労働組合

070-5653-7886 (小山)

(心無い首切りや職場のいじめ、セクハラ・パワハラと闘う労働組合です。どなたでもご相談ください。)